



令和8年6月15日
国土交通省四国地方整備局
中村河川国道事務所
渡川ダム統合管理事務所

中筋川ダム・横瀬川ダムなどの治水施設が効果を発揮

～令和8年台風第6号における治水効果について～

- 渡川流域では令和8年6月1日から以下の降雨を観測しました。
 - ・ 四万十川上流域 : 累計343mm
 - ・ 後川上流域 : 累計288mm
 - ・ 中筋川上流域 : 累計322mm (中筋川ダム上流域 : 累計366mm、横瀬川ダム上流域 : 累計313mm)
- この降雨により、後川の秋田地点でピーク水位 6.64m (戦後第6位)、中筋川の磯ノ川地点でピーク水位 7.97m (戦後第7位) を記録し、それぞれ避難判断水位 (警戒レベル3相当) を超える出水となりました。
- 中筋川ダムでは台風第6号に備え事前放流により約 158 万 m³ の容量を確保し、横瀬川ダムで事前に確保されていた貯水容量と2ダムの洪水貯留容量と合わせて約 1,540 万 m³ (中筋川ダム事前放流確保容量約 158 万 m³、横瀬川ダム事前確保容量約 192 万 m³、中筋川ダム洪水貯留容量 810 万 m³、横瀬川ダム洪水貯留容量 380 万 m³) の容量を確保しました。
- 中筋川ダムでは最大流入量の約94%、横瀬川ダムでは最大流入量の約99%をそれぞれのダムで貯留し、2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約1.9m水位を低減させたと推定されます。
- 後川・中筋川では排水機場及び排水ポンプ車が稼働し、約2,900千m³ (25mプール約7,360杯分) の排水を実施するとともに、四万十川では初崎堤防事業や入田地区内水対策事業により浸水を低減させたと推定されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本発表は、四国圏広域地方計画広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 (河川の効果)

電話番号 (0880) 34-7301

副所長 (河川) 弘田 真一

◎計画課長 寛 泰昌

国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所 (ダムの効果)

電話番号 (0880) 66-2501

所長 松坂 幸二

◎管理課長 畑本 浩之

◎主な問い合わせ先

令和8年6月台風第6号の出水速報

【渡川水系】

令和8年6月
中村河川国道事務所

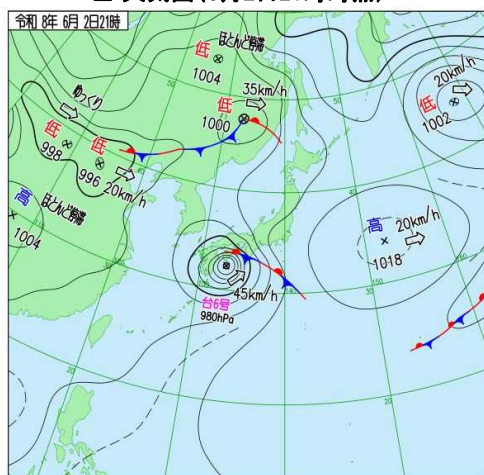
※本資料における数値は速報値に基づくものがあるため、後日変更になる場合があります。

1. 気象の概要について 【渡川水系四万十川・後川・中筋川】

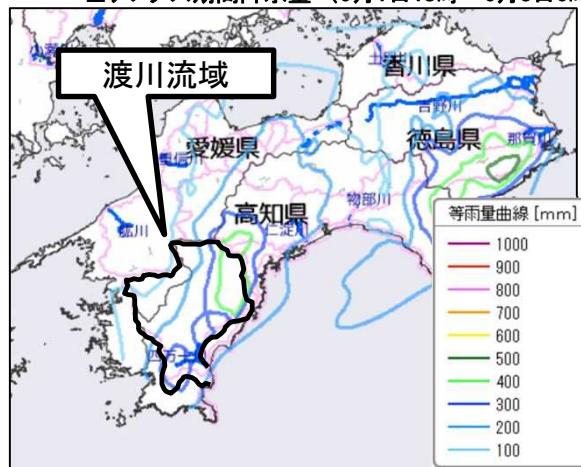
速報値

- 6月1日から2日にかけて、台風第6号の接近に伴い、高知県内では大雨となった。6月1日18時(降り始め)から3日6時までの降水量は、多いところで高知県高岡郡津野町船戸で469 mm(四万十川)、四万十市奥鴨川で268 mm(後川)、宿毛市山奈で306 mm(中筋川)を観測。
- 6月1日18時から3日6時までの期間において、具同上流域(四万十川上流域)における平均雨量の総雨量は約343 mmを観測。
- 6月1日18時から3日6時までの期間において、秋田上流域(後川上流域)における平均雨量の総雨量は約288 mmを観測。
- 6月1日18時から3日6時までの期間において、磯ノ川上流域(中筋川上流域)における平均雨量の総雨量は約322 mmを観測。

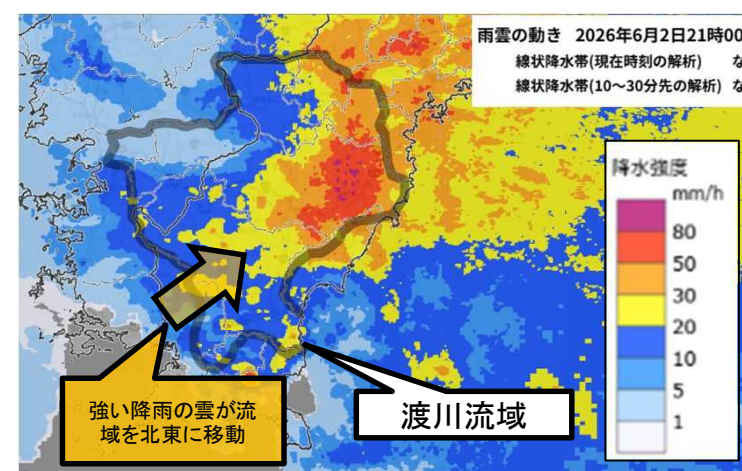
■ 天気図(6月2日21時時点)



■ アメダス期間降水量 (6月1日18時~6月3日6時)



■ 雨量レーダ画像(6月2日21時)



■ 四万十川具同地点 (6月3日6時20分 水位6.90m)



■ 後川秋田地点 (6月2日22時30分 水位6.64m)



■ 中筋川磯ノ川地点 (6月2日23時30分 水位7.97m)

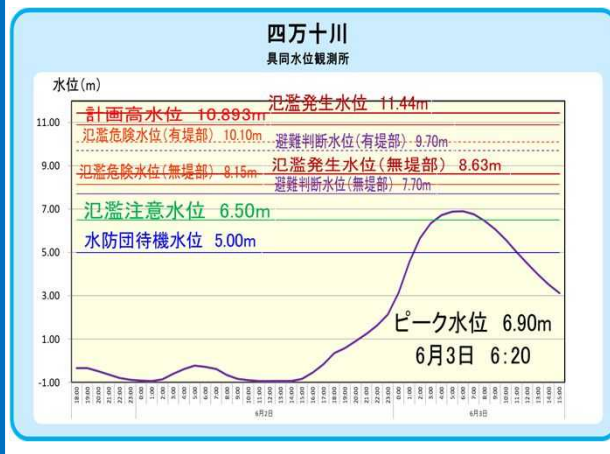
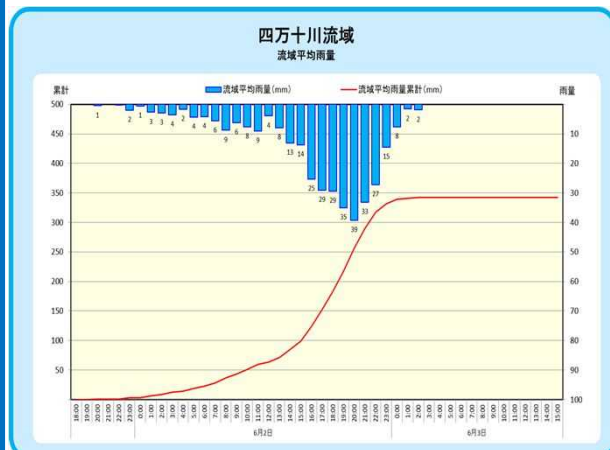


1. 気象の概要について 【渡川水系四万十川・後川・中筋川】

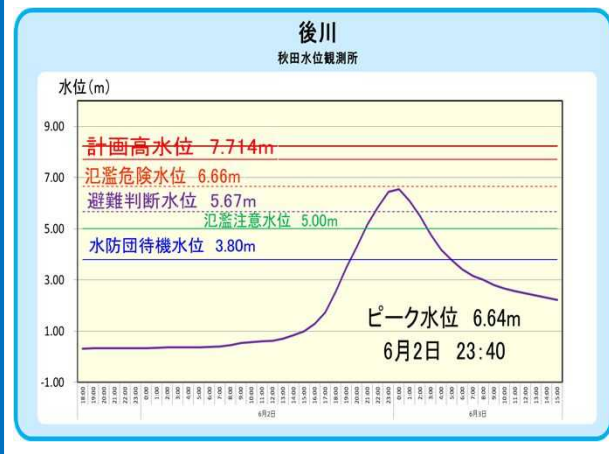
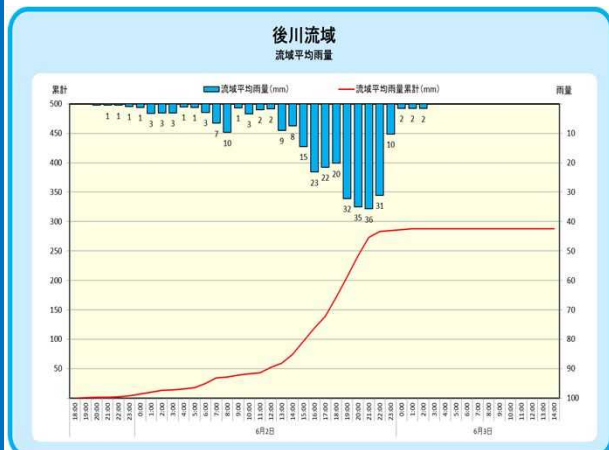
速報値

- 四万十川の河川水位は、具同水位観測所において3日6時20分に6.90mを観測、氾濫注意水位6.50mを超過した。※氾濫危険水位(無堤部):8.15m
- 後川の河川水位は、秋田水位観測所において2日23時40分に6.64mを観測、氾濫注意水位5.0mを超過し、氾濫危険水位6.66mに迫る水位となった。
- 中筋川の河川水位は、磯ノ川水位観測所において2日22時30分に7.97mを観測、氾濫注意水位5.0mを超過し、氾濫危険水位8.11mに迫る水位となった。

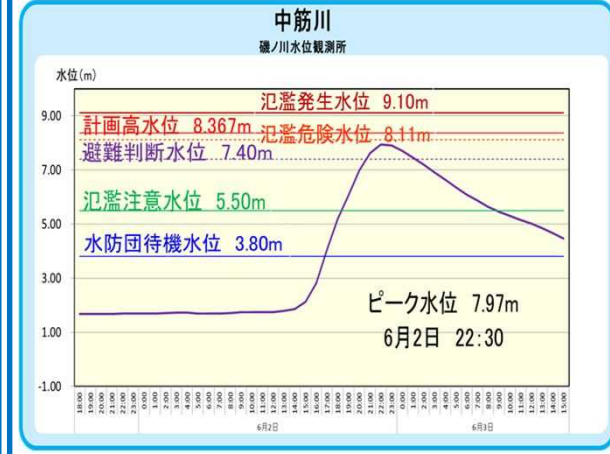
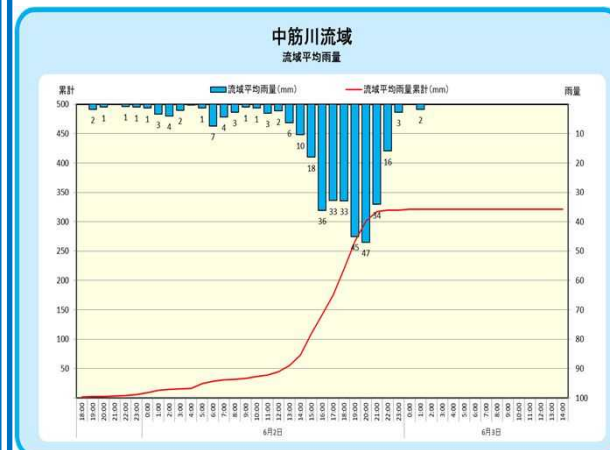
四万十川: 具同基準観測所



後川: 秋田基準観測所



中筋川: 磯ノ川基準観測所



2. 台風第6号における取組(排水機場稼働状況) 【渡川水系四万十川・後川・中筋川】 速報値

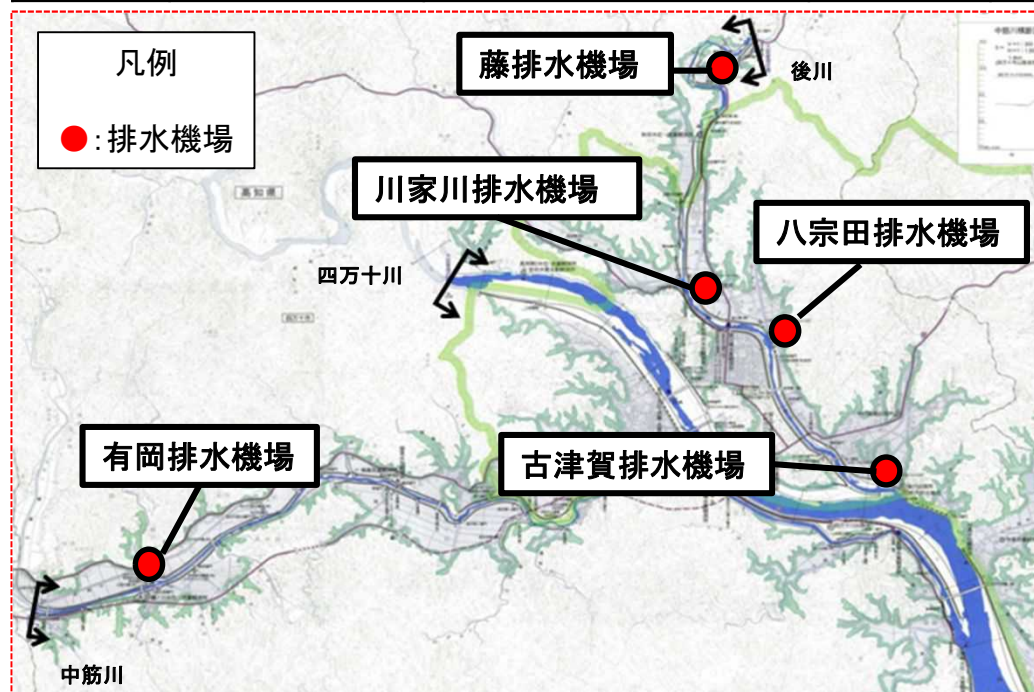
■ 6月2日、台風第6号による降雨に伴い河川の水位が上昇。
 ■ 中村河川国道事務所では、中筋川での内水氾濫による浸水被害を防ぐため、排水機場の稼働により、約2,676千m³(25mプール約6690杯分^{注1)}の排水作業を行い、浸水被害の軽減を図った。

排水機場の稼働状況

注1) 25mプールは「長さ25m、幅16m、深さ1m」として換算

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

排水機場名	位置	ポンプ規模	稼働時間	排水量	
後川	こつか古津賀排水機場	後川左岸(古津賀地区)0.0km付近	6/2 21:30~6/3 15:00 (約17時間30分)	約630,000m ³ を排水 (プール:1,575杯)	
	はっそうだ八宗田排水機場	後川左岸(八宗田地区)3.2km付近	6/2 19:00~6/3 13:03 (約18時間)	約650,000m ³ を排水 (プール:1,625杯)	
	かわいえがわ川家川排水機場	後川左岸(川家川地区)4.8km付近	6/2 20:00~6/3 8:20 (約12時間20分)	約444,000m ³ を排水 (プール:1,110杯)	
	ふじ藤排水機場	後川左岸(藤地区)8.2km付近	6/2 20:00~6/3 3:30 (約7時間30分)	約162,000m ³ を排水 (プール:405杯)	
中筋川	ありおか有岡排水機場	中筋川左岸(有岡地区)14.2km付近	8.0m ³ /s	6/2 19:30~6/3 22:52 (約27時間20分)	約790,000m ³ を排水 (プール:1,975杯)



排水機場の稼働状況

八宗田排水機場



古津賀排水機場



有岡排水機場



藤排水機場



2. 台風第6号における取組(排水ポンプ車等稼働状況)【渡川水系四万十川・後川・中筋川】

速報値

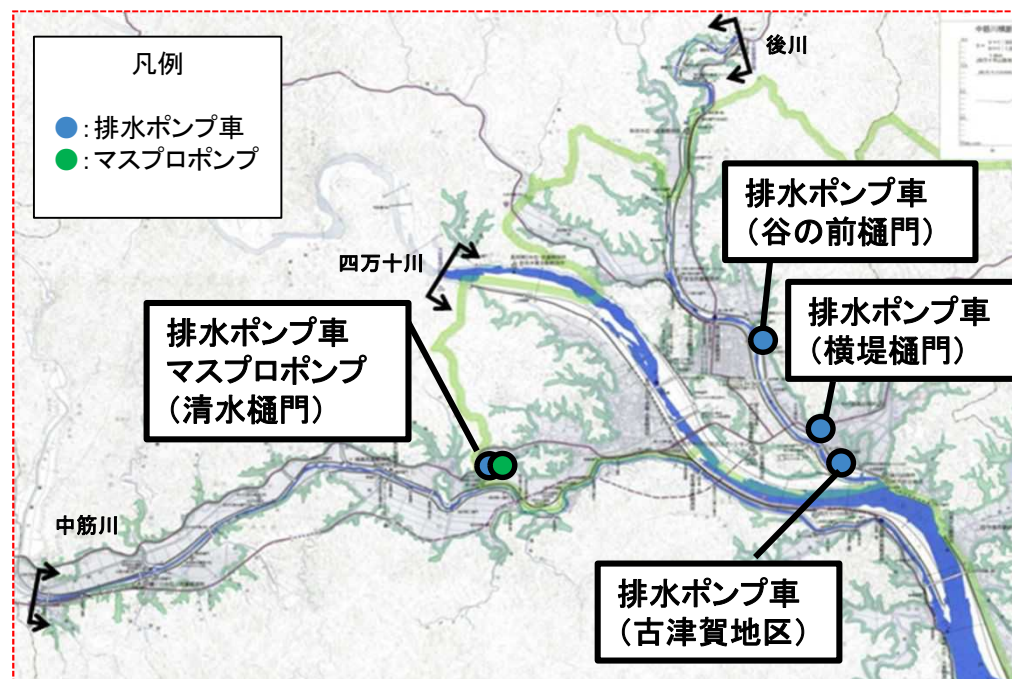
■中村河川国道事務所では、中筋川・後川での内水氾濫による浸水被害を防ぐため、排水ポンプ車を配備・稼働、マスプロポンプを稼働し、約268千m³(25mプール約670杯分^{注1)}の排水作業を行い、浸水被害の軽減を図った。(後川:排水ポンプ車3台 中筋川:排水ポンプ車1台、マスプロポンプ1台)

排水ポンプ車の配備・稼働状況

注1)25mプールは「長さ25m、幅16m、深さ1m」として換算

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

排水ポンプ車		位置	ポンプ規模	稼働時間	排水量
後川	排水ポンプ車	後川左岸(横堤樋門)1.2km付近	1.0m ³ /s	6/2 21:39~6/3 9:30 (約12時間)	約44,000m ³ を排水(事前配備) (プール:110杯)
	排水ポンプ車	後川左岸(古津賀地区)0.8km付近	1.0m ³ /s	6/3 4:40~6/3 9:30 (約3時間40分)	約6,700m ³ を排水 (プール:16杯)
	排水ポンプ車	後川左岸(谷の前樋門)2.8km付近	0.5m ³ /s	6/3 5:06~6/3 8:49 (約4時間50分)	約17,400m ³ を排水 (プール:44杯)
中筋川	排水ポンプ車	中筋川左岸(清水樋門)8.4km付近	2.5m ³ /s	6/2 18:57~6/3 10:43 (約15時間)	約146,000m ³ を排水(事前配備) (プール:365杯)
	マスプロポンプ	中筋川左岸(清水樋門)8.4km付近	1.0m ³ /s	6/2 18:03~6/3 9:10 (約14時間50分)	約54,000m ³ を排水 (プール:135杯)



排水ポンプ車の稼働状況

【横堤樋門】令和8年6月2日



【谷の前樋門】令和8年6月3日



【清水樋門】令和8年6月2日



【古津賀地区】令和8年6月3日



3. 台風第6号における治水事業の効果【渡川水系四万十川】

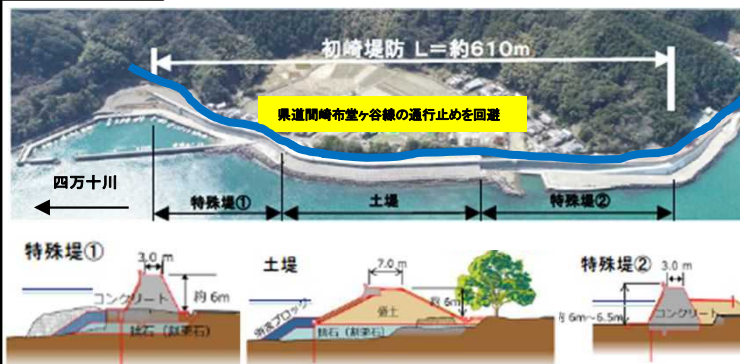
- 四万十川の水位(基準地点:具同)は、6月3日6時20分6.90mに達した。
- 令和7年3月に完成した初崎堤防により、高潮及び洪水による浸水を回避し、県道間崎布堂ヶ谷線の通行止めを回避。
- 令和6年5月に完了した入田地区内水対策事業により、四万十川の水位が上昇するまでに入田地区の内水を排除することにより、地区の浸水を低減した。
- 今回の出水では、平成16年10月出水と同規模の雨量を記録したが、上記事業や、河道掘削や樹木伐採等の治水対策により、家屋浸水を防いだ。

位置図

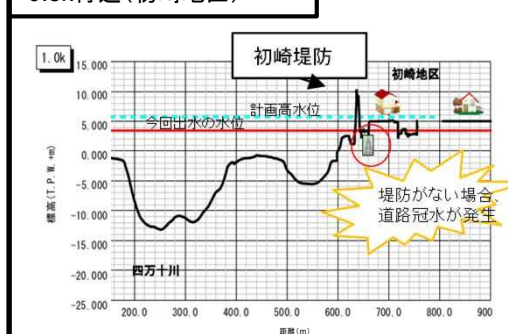


初崎堤防

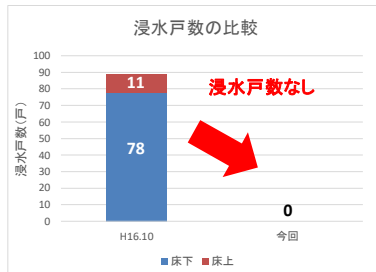
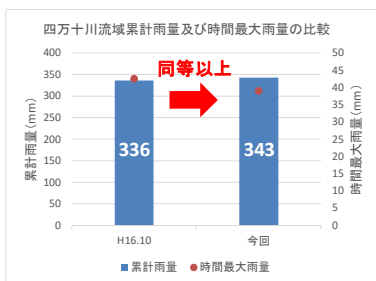
●構造:コンクリート重力式堤防 ●堤防高約6m



四万十川右岸 0.8k付近(初崎地区)



四万十川全体における整備効果



入田地区内水対策事業



- 入田樋門(国土交通省施工)
 - 構造:無動力(フラップ)ゲート
 - 排水能力:35m³/s
- 導水路(高知県施工)
 - 水路延長:29.3m
 - 断面(川裏BOX):幅4.8m×高さ2.5m×2連

四万十川右岸(入田地区)



樋門の大きさ比較



入田地区の内水被害軽減を目的に、導水路及び入田樋門により排水能力を向上させ、浸水被害を低減した。

※本資料における数値は速報値に基づくものがあるため、後日変更になる場合があります。

3. 台風第6号における治水事業の効果 【渡川水系後川】

- 後川の水位(基準地点:秋田)は、6月2日22時30分に6.64mに達し、戦後第6位を記録した。
- 排水機場及び排水ポンプ車の稼働に加え、秋田地区等で実施した河道掘削や樹木伐採などにより、家屋浸水を防いだ。
- 今回の出水では、平成16年10月出水と比較し、上記事業や、河道掘削や樹木伐採等の治水対策により、家屋浸水を防いだ。

位置図



<出水・浸水被災状況写真>



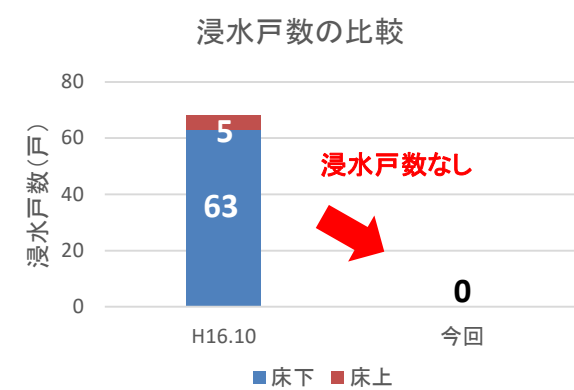
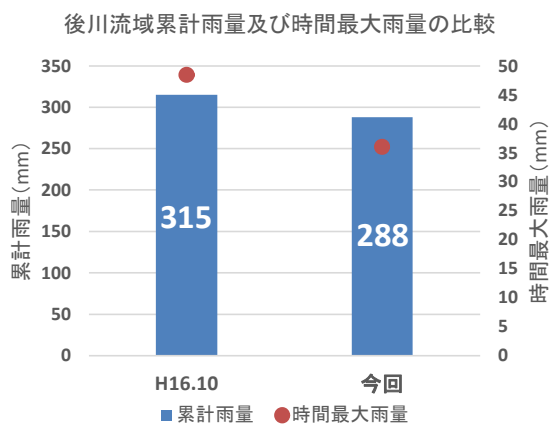
<施設稼働状況写真>



後川河道掘削【藤地区】



後川全体における整備効果

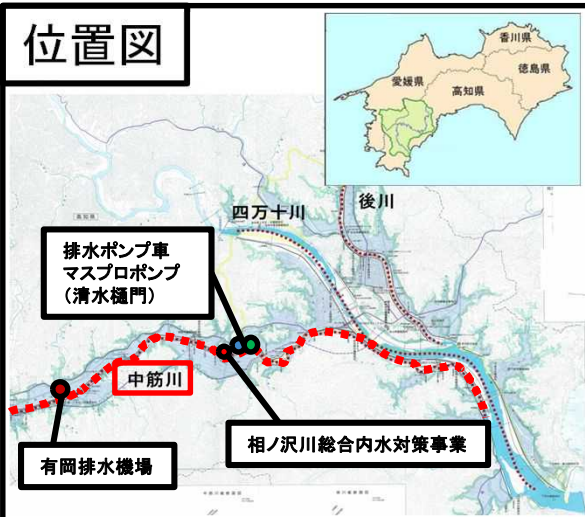


※本資料における数値は速報値に基づくものがあるため、後日変更になる場合があります。

3. 台風第6号における治水事業の効果【渡川水系中筋川】

- 中筋川の水位(基準地点:磯ノ川)は、6月2日22時30分に7.97mに達し、戦後第7位と同水位を記録した。
- 中筋川ダム及び横瀬川ダムへの貯留により、基準地点の水位が1.9m低減した。(詳細は次ページ)
- 令和5年5月に完了した相ノ沢内水対策事業により、放水路・排水樋門で速やかに内水を排除し、樋門が閉じた後も排水機場やマスプロポンプによる排水を行い、浸水範囲の低減及び近接する国道56号の通行止めを回避した。
- 今回の出水では、平成16年10月出水と比較し、上記事業や、河道掘削や樹木伐採等の治水対策により、家屋浸水を防いだ。

位置図



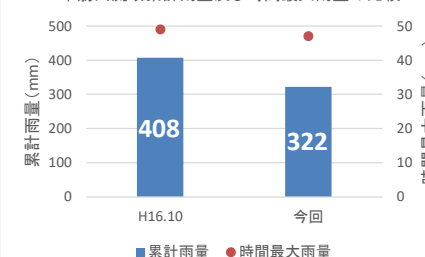
<出水・浸水被災状況写真> 四万十市具同地区 ※路肩規制のみ



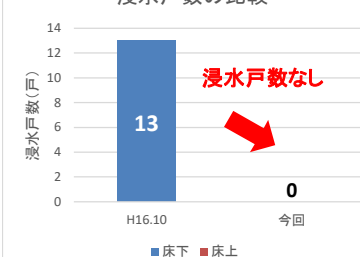
国道56号周辺の浸水深を最大20センチ低減し、通行止めを回避

中筋川全体における整備効果

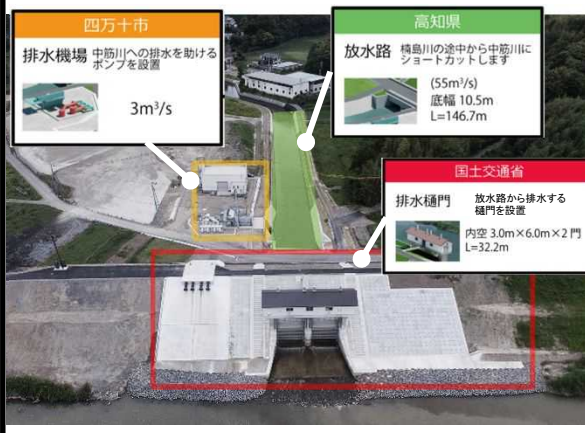
中筋川流域累計雨量及び時間最大雨量の比較



浸水戸数の比較

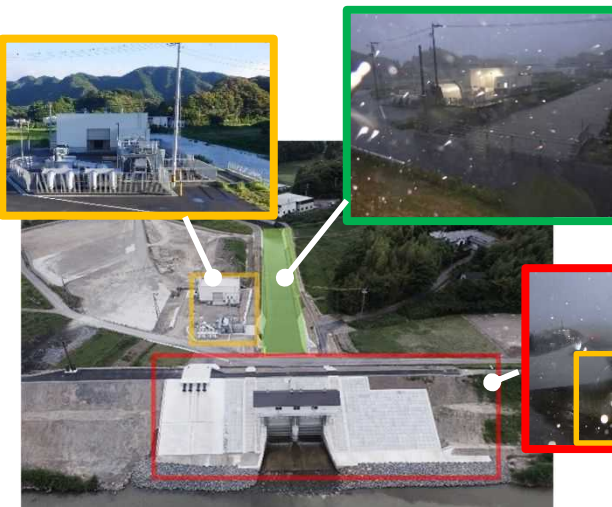


相ノ沢川総合内水対策事業



<施設稼働状況写真>

【相ノ沢川総合内水対策事業】



【排水ポンプ車(清水樋門)】



【マスプロポンプ】



※本資料における数値は速報値に基づくものがあるため、後日変更になる場合があります。

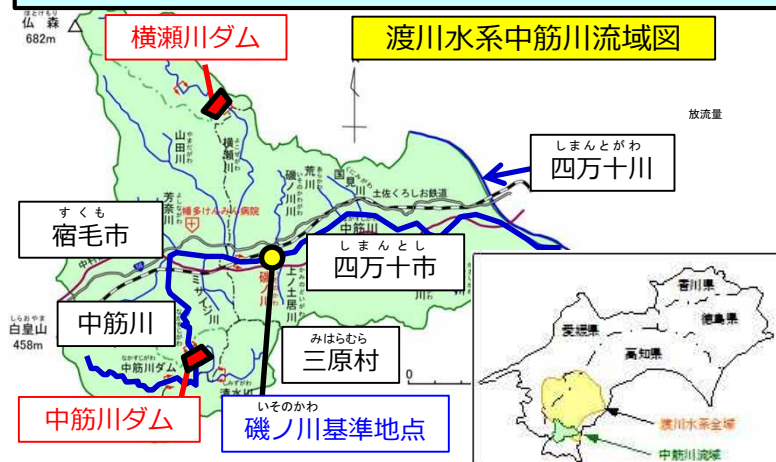
3. 台風第6号における治水事業の効果【渡川水系中筋川】

速報値

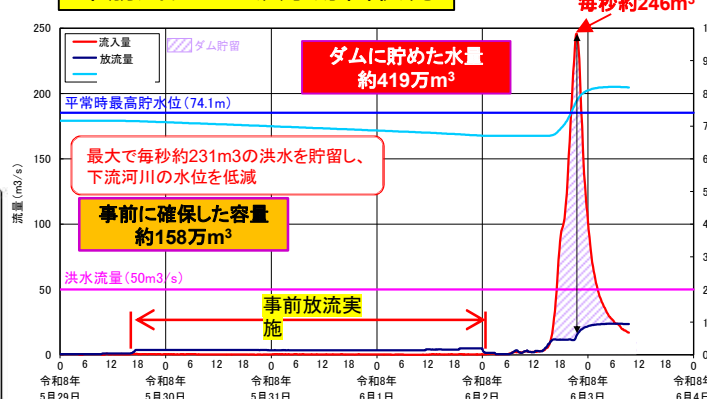
なかすじがわ よこせがわ
中筋川ダムと横瀬川ダムの効果(高知県・渡川水系中筋川)

- 令和8年6月1日からの台風第6号による降雨では、中筋川ダム上流域で累計366mm^{※1}、横瀬川ダム上流域で累計313mm^{※2}を観測。
- 中筋川ダムでは台風へ備え事前放流により約158万m³の容量を確保し、横瀬川ダムで事前に確保されていた貯水容量と2ダムの洪水貯留容量と合わせて約1,540万m³の容量を確保。(中筋川ダム：事前放流確保容量約158万m³、洪水貯留容量810万m³。横瀬川ダム：事前放流確保容量約192万m³、洪水貯留容量380万m³)
- 中筋川ダムでは最大流入量246m³/sの約94%、横瀬川ダムでは最大流入量76m³/sの約99%をダムで貯留。
- 2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約1.9m水位を低減し、氾濫発生水位の超過を回避したと推定。

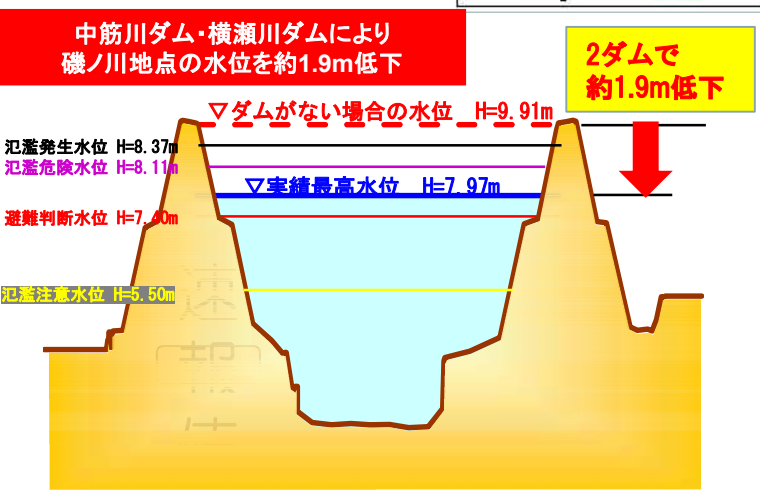
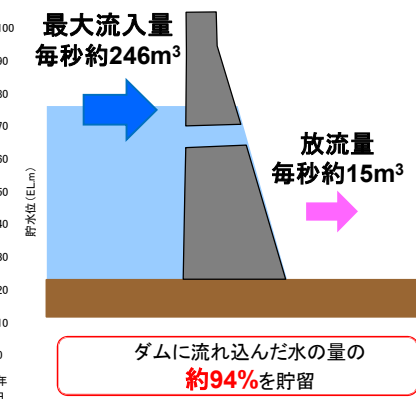
※1:6月1日18時～3日2時(時間最大雨量約52mm・2日19時)、※2:6月1日19時～3日5時(時間最大雨量約44mm・2日19時、20時)



中筋川ダムの洪水貯留状況



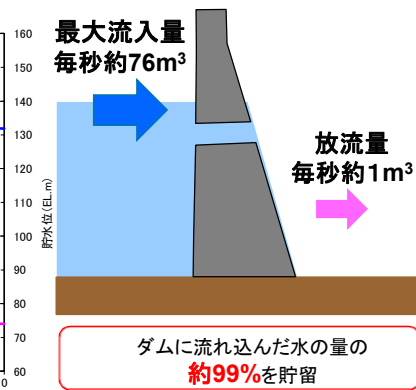
最大流入時の中筋川ダム



横瀬川ダムの洪水貯留状況



最大流入時の横瀬川ダム



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 台風第6号における治水事業の効果 【渡川水系中筋川】

速報値

ダムの貯留状況

中筋川ダム



貯留前 EL=67.00m (6月2日)



今回洪水による貯留量
約419万m³

貯留後 最高貯水位EL=82.00m (6月3日)

横瀬川ダム



貯留前 EL=121.31m (6月2日)



今回洪水による貯留量
約201万m³

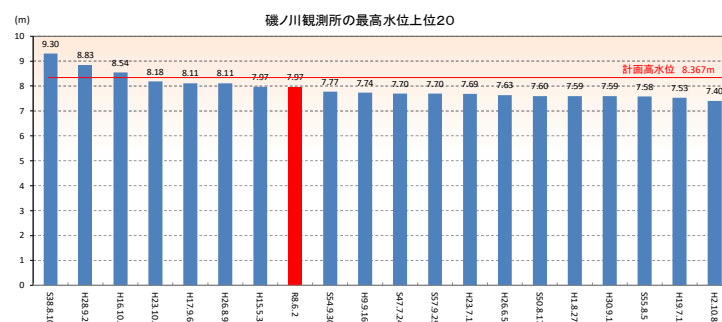
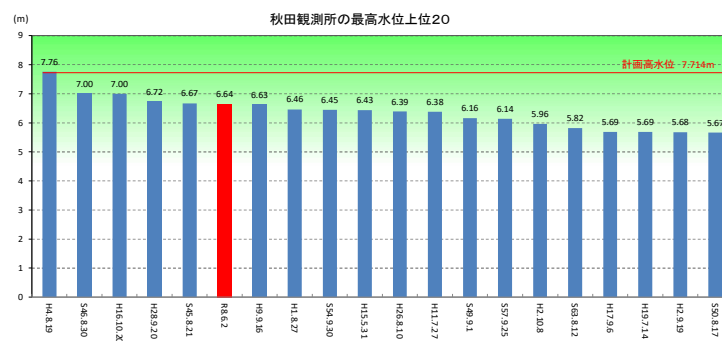
貯水位EL=131.28m (6月3日)

4. 過去に発生した同規模洪水との比較

【渡川水系四万十川・後川・中筋川】

速報値

■ 令和8年6月2日台風第6号による四万十川の水位は、過去(戦後)の出水と比較し、上位20位以下であった。
 ■ 令和8年6月2日台風第6号による後川・中筋川の水位は、過去(戦後)の出水と比較し、後川は6位、中筋川は7位であった。



発生日	発生原因	渡川流域 被害状況
S38.8.10	台風9号	家屋全半壊・流出:144戸、死者 :1名、床上浸水:2,145戸、床下浸水:1,100戸、浸水面積:4,502ha
S57.9.25	台風13号	家屋全半壊:2戸、床上浸水:85戸、床下浸水:76戸、浸水面積:557ha
H4.8.19	台風11号	床上浸水:283戸、床下浸水:158戸、浸水面積:414ha
H16.10.20	台風23号	床上浸水:16戸、床下浸水:154戸、浸水面積:763ha
H17.9.6	台風14号	家屋全半壊:55戸、床上浸水:562戸、床下浸水:129戸、浸水面積:250ha
H19.7.14	台風4号	床上浸水:55戸、床下浸水:10戸、浸水面積:92ha
H23.7.19	台風6号	床上浸水:73戸、床下浸水:0戸、浸水面積:37ha
H26.6.5	台風11号	家屋全半壊:3戸、床上浸水:283戸、床下浸水:117戸、浸水面積:693ha
R8.6.2 (今回)	台風6号	床下・床上浸水:0戸、浸水面積:調査中

※「渡川水系河川整備計画」過去の主な洪水と被害状況と比較